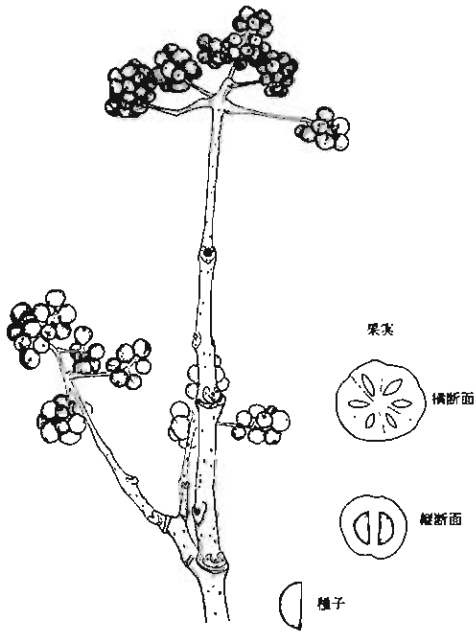


樹木だより

キ ハ ダ



秋、すっかり葉を落した木に、たくさんの実を黒々とつけた枝を見つけた。キハダだ。果実を輪切りにしてみると、何個かの種子が、ミカンのように並んではいつている。

亜高山帯で掻き起し作業をおこなうと、ダケカンバにまじって、キハダの稚苗がかなり多数、発生してくることがある。おそらく、鳥によって運ばれ、土に埋もれていたものが、環境の変化にともなって発芽してきたものなのだろう。

では、キハダのたねは何年間ぐらい土の中で生き続けることができるのだろうか。今、実験的にしらべているところである。

(造林科 菊沢喜八郎)